

兵庫運河夜間景観形成計画 概要版

平成28年3月29日
企画調整局政策企画部総合計画課

1. 夜間景観形成計画【①兵庫運河全体】

■ 基本コンセプト

『兵庫運河周辺地域のまちの将来像』

『兵庫運河を核に水と緑にあふれ、人が集い、歴史の息づくまちづくりをめざす』

まちづくりの3つの視点

安全性の確保

アメニティの向上

にぎわいの創出

夜間形成への期待・・・

地域の、夜間の安全性を担保し、回遊性やアクティビティの向上、にぎわいづくりや歴史資産・地域資源の美的価値創出への貢献

夜間景観形成
基本コンセプト

『兵庫津・光の運河 絵巻』

運河の各エリアや景観要素を絵巻の題材ととらえ、現代の兵庫津の物語を光で紡ぐ。色彩を使う場合は、日本的な「平安の色」をイメージとする。

夜間景観形成
3つの視点

アメニティ

地域の人に愛され
日常的に活用される
夜時間の創出

『歩きたい』
『眺めたい』
『居心地がいい』

地域の歴史や物語に

あかりの存在によって気づき
シビックプライド熟成の
きっかけをつくる

安全性

安全/安心
環境配慮

- ・安全で安心感のある
広場や遊歩道
- ・まぶしさと暗がりの改善
- ・省エネ光源の採用

にぎわい

場所性と歴史性に
裏打ちされた
外来者にも魅力的な
夜間景観の整備

『行ってみたい』
『デートに使える』
『自慢したい』

実現のための
5つの
デザイン手法

- ・心地よい「電球色」を基本とするあかり
- ・オールLEDによる省エネ環境配慮の計画
- ・橋梁/樹木/護岸/建物等のライトアップ
- ・間接照明と「魅せる・楽しい」照明の組み合わせ
- ・にぎわいづくり/おもてなしのあかりの仕掛け
(平安の色彩や陰影の工夫と制御プログラム)

1. 夜間景観形成計画【①兵庫運河全体】

■ サブコンセプト

夜間景観形成
基本コンセプト

『兵庫津・光の運河 絵巻』

運河の各エリアや景観要素を絵巻の題材ととらえ、現代の兵庫津の物語を光で紡ぐ。色彩を使う場合は、日本的な「平安の色」をイメージとする。

フォーカスポイント

『橋』が語る兵庫津の歴史

兵庫津に点在する橋梁には、其々に物語がある。現在あまり知られていない各橋梁の歴史や地域の物語を、ライトアップをすることにより際立たせる。

橋をめぐる仕掛けづくりや水上遊覧などへつなげることができれば、

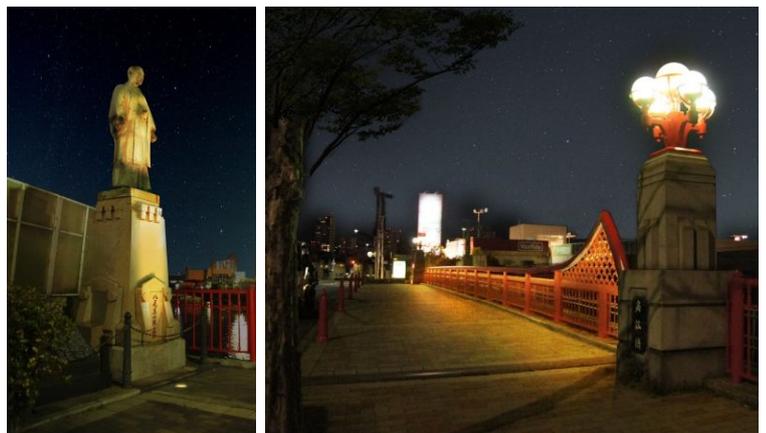
エリア全体での回遊性を高めることができる。



■ 「橋の物語」の一例・・・高松橋

1928年竣工の高松橋は当初一葉の跳ね上げ橋で、現在の高欄はその意匠の記憶を留めるデザイン。そのデザインにフォーカスし、笠木部分に間接照明を挿入することで高欄全体と路面に明るさを確保する。

また、兵庫運河の開削者である八尾善四郎銅像は、現在は闇に沈んでいるのでライトアップし、まちの歴史への興味を喚起する。



1. 夜間景観形成【兵庫運河全体イメージ図】

